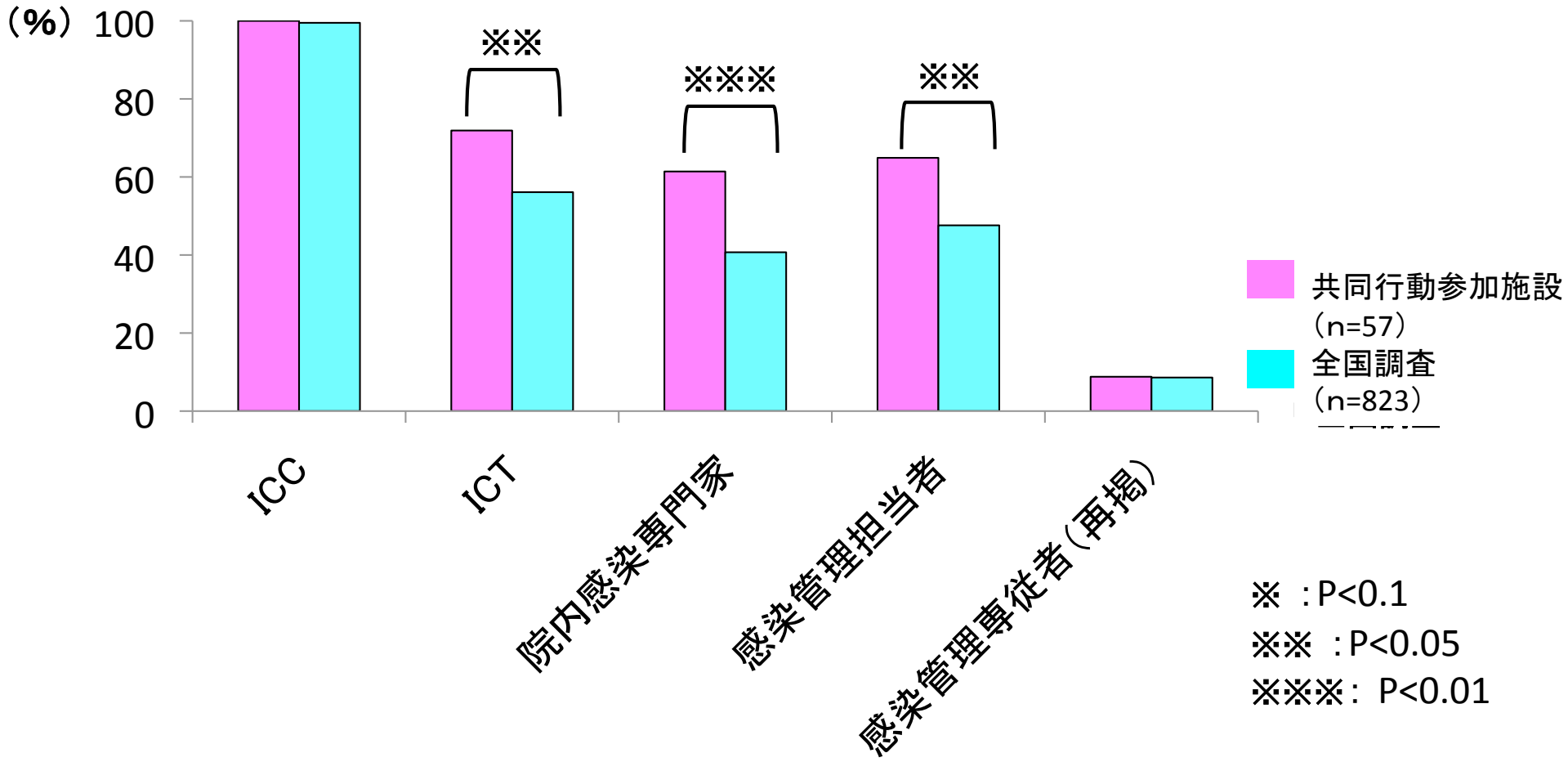
医療安全全国共同行動に参加している中小規模医療施設の院内感染対策組織・活動・地域連携

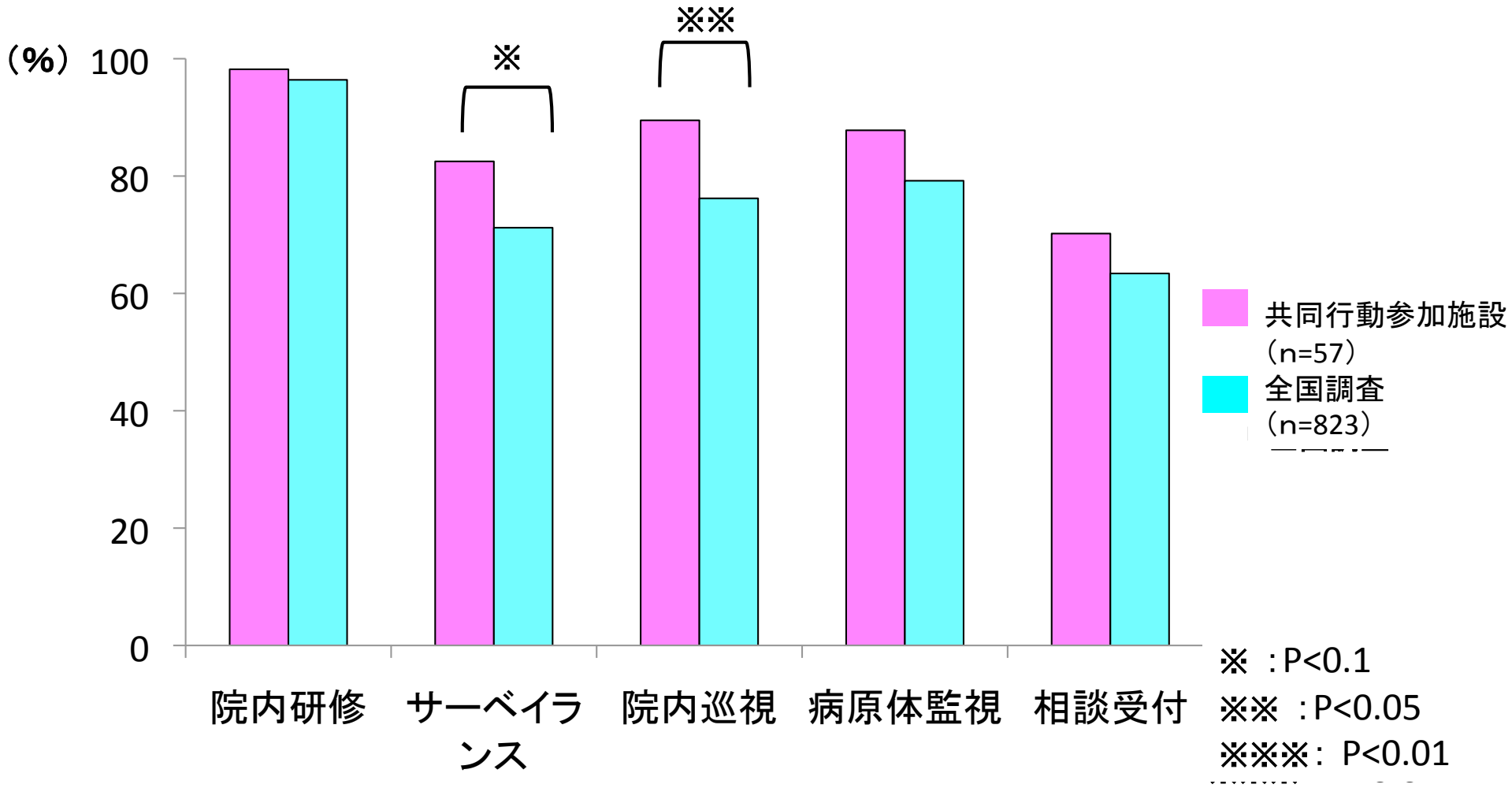
「医療施設における院内感染対策活動に関するアンケート」（平成23年度）結果より

目標4.「医療関連感染症の防止」支援チーム
森那美子（国立看護大学校）
切替照雄（国立国際医療研究センター）

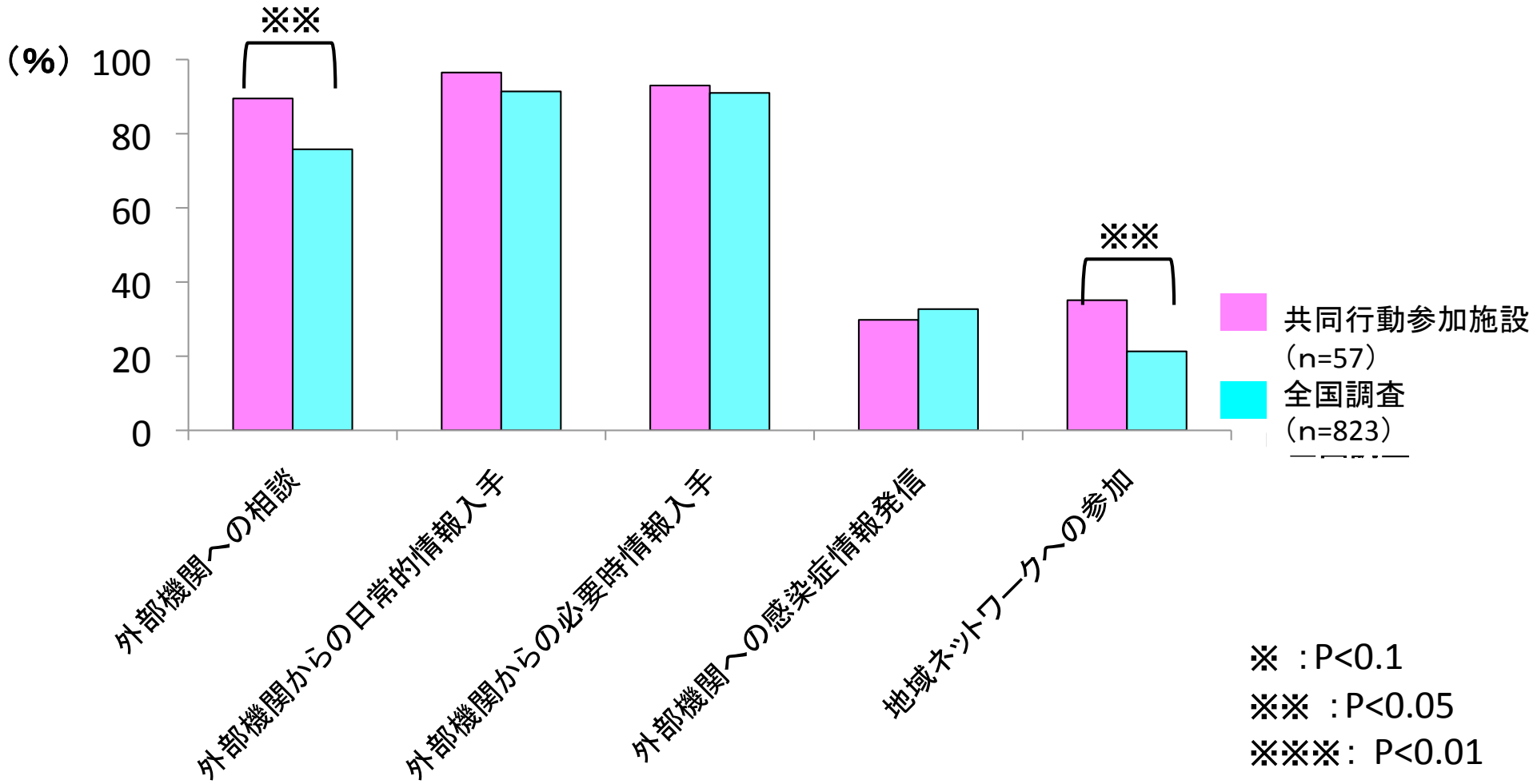
院内感染対策組織と人材



院内感染防止活動の実施状況



地域外部機関との連携



※ ：P<0.1
※※ ：P<0.05
※※※： P<0.01

現状のまとめと今後に向けて

- 共同行動参加の中小規模医療施設は、全国調査と比較して、ICT設置率、専門家および専任者配置率が高く、各種活動や地域連携実施率が高い。
- 専従者が不在にも関わらず、院内感染対策活動を活発に行っている。
- 診療報酬改定前から積極的に地域連携をしている。今後は加算等の制度を有効活用して、より効果的な院内感染対策活動を実施していただきたい。
- 地域における中小規模医療施設のモデル病院として、活動状況を発信したり、相談対応していただくなどの取り組みを期待する。